

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
1	前田 和文議員	1 議案第 2 号 平成 29 年度伊佐市一般会計補正予算（第 11 号）	<p>第 2 表繰越明許費について、下記事業それぞれの具体的事業内容、繰越になった理由、早期完了に向けた取組とその時期を明確に示せ。</p> <p>(1) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 治山事業 4,900 千円</p> <p>(2) (款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 市道維持管理事業 17,500 千円</p> <p>(3) (款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 一般管理 道路新設改良 20,600 千円</p> <p>(4) (款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 過疎債・路線整備事業 130,809 千円</p> <p>(5) (款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 浸水対策道路整備事業 153,900 千円</p> <p>(6) (款) 8 土木費 (項) 5 住宅費 公営住宅管理事業 14,180 千円</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
2	谷山 大介議員	1 平成 30 年度施政方針	<p>(1) 重点施策の一点目</p> <p>ア あらゆる分野に関連する「安全安心」に関して、「組合せや取捨選択により効率的で実効性の高いサービスへと切替える」とある。何を見直すのか具体的に伺う。</p> <p>イ 「安全・安心なまちづくりは各種団体などの『自助・共助・協働』による取組みが不可欠です」とあるが、「自助共助公助から協働」などではなく防災士の基本理念である「自助・共助・協働」なのか伺う。当然「公助」は行っていくという考え方でよいか。</p> <p>ウ 子育て支援環境の既存の支援や連携等に対し引き続き円滑な支援体制の整備に努めるとあるが、具体的に伺う。</p> <p>(2) 重点施策の二点目～DMOについて</p> <p>ア 市総合振興計画との関連性は</p> <p>イ DMOにおける地元で稼げる環境づくりとあるが具体的に示されたい。</p> <p>ウ 特にウェルネスの基本となる食による心と体にやさしいサービスや産品づくりに力を注ぐとあるが、一般財団法人日本ウェルネス協会のウェルネス推奨商品制度の利用を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 重点施策の四点目</p> <p>ア 山坂達者な子どもたちの育成を目指すとあるが具体的に何をするのか伺う。</p>	市長 教育長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
3	緒方 重則議員	1 平成 30 年度施政方針	<p>以下のことについて市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 産学官連携による地域再生の取組みとは具体的にどのようなことを考えているか。</p> <p>(2) 「安全・安心なまちづくり」において、地域オリジナルの取組み、地域独自の新しい動きが生まれることを期待する、としたその意図とは。</p> <p>(3) 地域医療体制の確保や高齢者を支える「地域包括ケアシステムの深化・推進」を図る具体的施策とは。市総合計画の「目標達成に向けた基本的取組」との認識でよいか。</p> <p>(4) 「既存とは異なる新しいビジネススタイル」を創生するための積極的な支援として具体的に考えられる取組みとして「若手経営者の育成による事業拡大や、業種転換による創業、スモールビジネスの起業など」とある。30 年度予算ではどのような内容で計上してあるか。</p> <p>(5) 「中期的な経営計画の再構築」において、公共施設マネジメントや行政業務の改革を専門部署の設置により、どのように進めていくのか。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	1 議案第 2 号 平成 29 年度伊佐市一般会計補正予算（第 11 号）	<p>減額が多いが、伊佐市において 29 年度の事業及び伊佐市総合振興計画に危惧することはないのか。</p> <p>(1) (款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 5 財産管理費 (節) 17 公有財産購入費 320,740 千円の用地の詳細な説明を。</p> <p>(2) (款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 9 企画調整費 (節) 19 負担金補助及び交付金 補助金 コミュニティ協議会 (運営) 1,127 千円、(育成) 207 千円、一般コミュニティ助成事業 100 千円の減額、交付金の自治会活性化交付金 1,426 千円の減額の説明を。</p> <p>(3) (款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 11 開発振興費 (節) 19 負担金及び交付金 補助金 中小企業防災対策促進事業 5,100 千円の執行減額の理由は。</p> <p>(4) (款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 18 諸費 (節) 23 償還金利子及び割引料 市税等過誤納還付金、還付加算金 20,800 千円減額の積算根拠は。</p> <p>(5) (款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費 (節) 23 償還金利子及び割引料 2,521 千円国庫支出金清算返納金の増額の理由は。</p> <p>(6) (款) 3 民生費 (項) 2 老人福祉費 (目) 1 老人福祉総務費 (節) 25 積立金 50,000 千円地域福祉基金の目的基金の活用目的は何か。</p> <p>(7) (款) 3 民生費 (項) 3 児童福祉費 (目) 2 子育て援助費 (節) 20 扶助費 補助事業扶助費 児童手当 10,965 千円、児童発達支援 4,500 千円、放課後サービス 1,000 千円減額理由は。</p> <p>(8) (款) 3 民生費 (項) 3 児童福祉費 (目) 3 母子福祉費 (節) 20 扶助費 児童扶養手当 15,374 千円の減額理由は。</p> <p>(9) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 1 林業総務費 (節) 19 負担金補助及び交付金の 33,307 千円の有害鳥獣対策協議会補助金の減額理由は。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
4	柿木原榮一議員	1 議案第 2 号 平成 29 年度伊佐市一般会計補正予算（第 11 号）	<p>(10) (款) 6 農林水産業費(項) 2 林業費 (目) 2 林業振興費(節)19 負担金補助及び交付金 補助金の市単除間伐推進事業 5,500 千円の減の理由及び場所を伺う。</p> <p>(11) (款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 5 特産品振興費 (節) 12 役務費 通信運搬費 6,592 千円の減額の理由は。</p> <p>(12) (款) 8 土木費 (項) 5 住宅費(目) 1 住宅管理費(節)15 工事請負費 12,112 千円建築工事の減額の理由は。</p> <p>(13) 第 2 表 繰越明許費(款) 2 総務費(款) 11 災害復旧費はそれぞれ完了・執行する期日のめどはいつ頃か。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
5	畑中 香子議員	1 平成 30 年度施政方針	<p>(1) 「これまでの 10 年間は旧市町の手法の違いのすり合わせや地域バランスなどにも配慮しながら」とあるが、旧市町の手法の違いとは、具体的にどのような点か。</p> <p>(2) 「急激な変化を避けるかたちでの市政運営」から「ひとつのまちとしての選択」を行うとあるが、具体的に説明せよ。</p> <p>(3) 地方債残高の推移について「平成 29 年度末に 168 億円まで積み上がる」とあるが、この事態をどう考えているか。さらに大型庁舎建設となると、地方債残高が大幅に増えるが市長の見解を伺う。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
1	前田 和文議員	1 議案第 9 号 平成 30 年度伊佐市一般会計予算	<p>(1) 歳入 (款) 12 使用料及び手数料 (項) 1 使用料(目) 6 土木使用料のうち P R 課所管 公園使用料 曾木の滝公園等使用料 公園施設設置管理許可使用料 1,177 千円の中の、観光きのご園 (ずい道・店舗) 198 千円は解約に向けた取組は無いのか、その時期を明確に示せ。</p> <p>(2) また、上記中の公園占用許可使用料 洞窟きのご園 6 千円は解約に向けた取組は無いのか、その時期を明確に示せ。</p> <p>(3) 歳出 (款) 7 商工費(項) 1 商工費(目) 3 観光費 P R 課所管 ⑥地域創生推進事業(節) 19 負担金補助及び交付金 DMO(株)やさしいまち 14,000 千円の具体的事業内容・積算根拠・今後の活動と課題について明確に示せ。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
2	谷山 大介議員	1 議案第 9 号 平成 30 年度伊佐市一般会計予算	<p>(款) 3 商工費(項) 1 商工費(目) 3 観光費(節) 19 負担金補助及び交付金(株)やさしいまち (DMO) への補助金 14,000 円について</p> <p>(1) 年限についてはどのように考えているか。それに伴う将来にわたるコスト計算はどのようにになっているか。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
3	山下 和義議員	1 議案第 23 号 伊佐市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	伊佐市介護保険事業の第 7 期介護保険事業計画の概要について。 (1) 現在の 1 号被保険者数 (2) 各段階の段階別人数 (3) 施設等への入所者数 (4) 自宅で介護を受けている数 (5) 介護人に対する支援 (6) 今回の介護保険料の改定の根拠 以上のことについて伺う。	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
4	久保 教仁議員	1 議案第 9 号 平成 30 年度伊佐市一般会計予算	<p>(款) 2 総務費(項) 1 総務管理費(目) 2 文書広報費(節)13 委託料について</p> <p>(1) (節)13 委託料 15,932 千円のうち、7,820 千円のホームページ更新作業業務委託。もっとも経費を費やしているのは何か。積算内訳を伺う。また、契約方法は何か。</p> <p>(2) SNS と連動するということだが、具体的な内容は。また、運用でPR課の負担が重くならないか。</p> <p>(3) 情報発信の効果を高めるとあるが、具体的には現状とどのように違ってくるのか。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
5	森田 幸一議員	1 議案第 9 号 平成 30 年度伊佐市一般会計予算	<p>(1) 定年退職する職員の再任用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 対象者、勤務形態、採用方法、任期、給与について イ 人事評価対象の有無、勤務時間、休暇、その他諸制度について ウ 平成 30 年度再任用希望職員数と再任用予定数及び配置部署について <p>(2) 臨時職員の雇用について。平成 29 年度と平成 30 年度との比較について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 臨時職員数について イ 一日の勤務時間及び賃金について ウ 一月の勤務日数及び賃金について エ 雇用保険料、社会保険料について オ 職員、専門員及び嘱託職員への職務上の影響について カ 住民サービス及び財政面への影響について <p>(3) これまで 6 年間取り組んできた木造住宅整備促進整備事業について、当初予算案の説明によると、「この事業の補助金を再編し、移住促進、集落再生、活性化、子育て環境の改善を目的とした移住・住み替えに対して、住宅の新築や空き家の増改築に必要な費用の一部を助成する」とある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 具体的にこれまでの事業・補助金との違いを示せ。 イ これまでの補助金交付要綱の改正は必要か。 	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
6	岩元 努議員	1 議案第 9 号 平成 30 年伊佐市一般会計予算	<p>(1) (款) 2 総務費(項) 1 総務管理費(目) 8 企画調整費(節) 1 報酬地域おこし協力隊 5,976 千円の内容は。</p> <p>(2) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費(目) 1 林業総務費(節) 8 報償費 26,217 千円の内容は。</p> <p>(3) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費(目) 1 林業総務費(節) 19 負担金補助及び交付金のうち、鳥獣処理施設 919 千円、有害鳥獣対策協議会 42,042 千円の事業内容は。</p> <p>(4) 附表 2 給与費明細書 2 一般職 (1) 総括 115,555 千円の減額理由は。</p>	市長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
7	武本 進一議員	1 議案第 9 号 平成 30 年度伊佐市一般会計予算	<p>(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 3 教育振興費 (節) 8 報償費と (節) 11 需用費に計 80 万円計上の社会科副読本について</p> <p>(1) 郷土伊佐の発展に尽くした先人たちとは、具体的に誰のことか。</p> <p>(2) 新規の事業であるが、今回の副読本を発刊しようとした経緯は何か。</p> <p>(3) 小中学生が対象となっているが、子どもたちに期待するものは何かを伺う。</p>	教育長	

平成 30 年第 1 回定例会総括質疑

平成 30 年 3 月 8 日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質疑事項	質疑の要旨	質疑の相手	長から委任を受けた説明者
8	畑中 香子議員	<p>1 議案第 21 号 伊佐市菱刈生活支援ハウスの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について</p> <p>2 議案第 23 号 伊佐市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>(1) 火災で 11 人が亡くなった札幌市の郷土住宅「そしあるハイム」や 09 年に火災で 10 人が亡くなった群馬県渋川市の老人施設「たまゆら」はいずれも低所得の高齢者の受入れ先であり、このような高齢者のための施設が不足している問題が報道されている。施設の老朽化による用途廃止であるが、今後の施設整備を検討されないのか市長の見解を伺う。</p> <p>第 7 期介護保険事業計画では保険料値上げとなるが、どのような経緯か。</p> <p>(1) 3 年間の費用総額と第 1 号被保険者の負担額の推計について</p> <p>(2) 基金の繰入れ検討はされなかったのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	